

# デジタル時計

## 取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

（例：SQ○○○、BC○○○、TC○○○など）

クロックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seiko-stc.co.jp>

発売元

セイコータイムクリエーション株式会社

説明書番号 FSQ-197Q-1

## 付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書（本書）2枚
- 保証書 1枚
- モニター用電池（単3形乾電池）2個
- スタンド 1個
- 木ねじ 1本（厚い木の壁・木の柱専用）
- 石膏ボード用掛け具（掛金具1個、釘5本（うち1本は予備））
- 製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ 1枚

※付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

## 必ずお守りください 安全上のご注意

### 警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

#### <アルカリ電池について>

- (1) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### <付属部品（木ねじ、掛け具）について>

木ねじや掛け具などは、幼児の手が届かないところへ置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

#### <梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

#### <液晶パネルについて>

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがありますので、十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合  
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合  
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合  
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

#### <無線通信について>

- ・ペースメーカーを使用の方は胸部に本製品を近づけないでください。
- ・病院や航空機内及びガソリンスタンド等では本製品を使用しないでください。

### 注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

#### <掛け方について>

本製品は確実に掛けてください。本製品の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。※掛け具に本製品を掛けた際、本製品を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の掛け具（掛金具、釘）をご使用ください。付属の木ねじは使用しないでください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の木ねじは使用しないでください。市販の掛け具をご使用ください。 ※市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。上記の<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

#### <製品の設置場所について>

落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

#### <電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、本製品を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず ⊖ 側から入れてください。また、⊕ ⊖ を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾ぶぎしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

#### <分解や改造をしない>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

#### <製品と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

## 必ずお読みになってからご使用ください

### 使用上のご注意

- 本製品は、国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

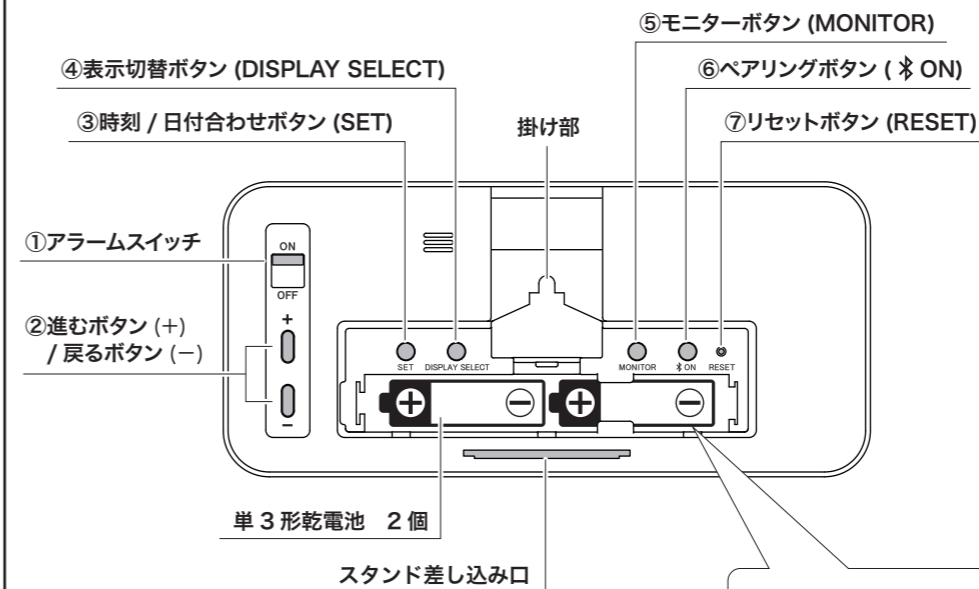
#### <液晶パネルについて>

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
  - ・表示部のシールをはがしたり、乾いた布などでふいたとき
  - ・指などで液晶パネルを押したとき

## 各部の名称



【正面】



【裏面】  
(ふたを開けた状態)

### 使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。  
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
- ちり・ほこりの多い所。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。  
壁や敷物、および本製品が汚れたり傷むことがあります。
- 温度や湿度の変化が激しい所。  
寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

#### アラーム時刻マーク

ALARM TIME ・アラームの時刻を合わせるとき、設定した時刻を確認するときに点滅します。

#### アラームマーク

ⓂⓂ ・アラームスイッチをONにすると点灯します。

#### 電池交換マーク

Ⓡ Ⓡ ・電池の残量が少なくなると点灯します。

#### 時刻/日付自動表示切替マーク

Ⓢ Ⓢ ・時刻表示と日付(カレンダー)表示が約15秒ごとに交互に切り替わる設定にすると点灯します。

#### ①アラームスイッチ

・アラーム ON/OFF を切り替えます。

#### ②進むボタン(+)/戻るボタン(-)

・アラーム時刻または現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

#### ③時刻/日付合わせボタン(SET)

・手動で時刻、日付を合わせるときに使用します。

#### ④表示切替ボタン(DISPLAY SELECT)

・時刻表示と日付(カレンダー)表示の切り替えができます。

#### ⑤モニターボタン(MONITOR)

・押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

#### ⑥ペアリングボタン(※ON)

・スマートフォンとペアリングする時に使用します。  
・詳細は、「時刻、日付を合わせる」をご覧ください。

#### ⑦リセットボタン(RESET)

・初期化を行います。  
・電池交換後は、先端の細いもので必ず押してください。

# ご使用方法

## はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みのうえ、ご使用ください。  
表示部にシールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。  
※静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく時間がたつと元に戻ります。

## 事前準備

- スマートフォンにアプリをインストールする  
**専用アプリ「ClockSyncApp」について**
  - ・「ClockSyncApp」は、本製品の時刻をスマートフォンの時刻と同期させるアプリです。
  - ・あらかじめ、ご使用になりたいスマートフォンにインストールします。
  - ・ご使用いただけるスマートフォンについてはホームページアドレス <https://www.seiko-stc.co.jp> にてご確認ください。
- ※アプリの仕様および画面のデザインは予告なく変更になる場合があります。

### インストールと初期設定

- (1) 以下の方法でインストールしてください。
  - 〈アプリを検索してインストール〉  
スマートフォンで Google Play または App Store にアクセスしてください。  
「ClockSyncApp」をキーワード検索してお使いのスマートフォンにインストールしてください。
  - 〈二次元コードによるインストール〉  
下記の二次元コードを読み取り、お使いのスマートフォンにインストールしてください。



Google Play はこちら



App Store はこちら

- (2) スマートフォンの Bluetooth 機能をオンにしてください。

## 1. 電池を入れる (単3形乾電池 2個)

本体裏面のふたを開けて、⊖側から電池を入れてください。

- 注意**
- ・電池の⊕⊖の向きを間違えないように注意してください。
  - ・種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

### 電池の入れ方

- 1) 1 本目の電池を左側に入れる
- 2) 入れた電池を右側に移動する
- 3) 2 本目の電池を左側に入れる

## 2. 「リセットボタン」を先端の細いもので押す

表示が全てついた後、時刻「12:00 AM」となります。

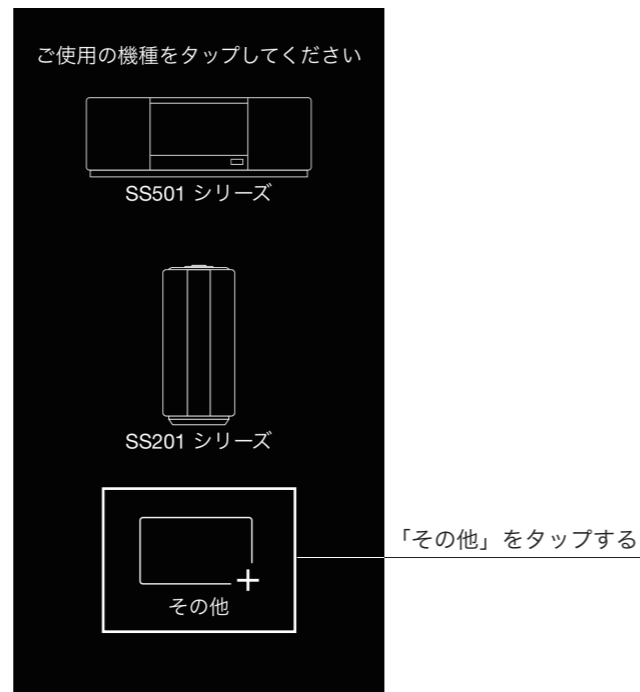
**重要** 電池交換後は、必ず「リセットボタン」を押してください。

## 3. 時刻・日付を合わせる

### アプリを起動させる

- (1) スマートフォンで ClockSyncApp を起動してください。
- (2) 「その他」をタップしてください。

※スマートフォンの機種によっては、位置情報へのアクセス許可を求める表示が出る場合があります。位置情報へのアクセスを許可するとアプリをご使用いただけます。



### 時刻を同期する

- (1) 時計の「⑥ペアリングボタン (ON)」を押してください。表示が点滅し、ペアリングモードに入ります。
  - ・アプリ上に時計の品番が表示され、点滅します。
  - ・電波の強度に応じてアンテナマーク (■) が表示されます。



### ※ペアリングについて

- ・時刻同期をする前に時計とスマートフォンをペアリングしておく必要があります。
- ・一度ペアリングに成功すると、スマートフォンに時計の情報が登録されるため、以降この操作は不要です。(時計の品番名が表示されている状態)

※ペアリングモードに入ってから 30 秒経過すると自動的に通常状態に戻ります。

※複数台の時計をペアリングする場合、1 台ずつペアリングを行ってください。

※1 つの時計に対して、複数台のスマートフォンでペアリングし、時刻同期することができます。

- (2) アプリの時刻同期ボタンをタップしてください。時刻同期を開始します。
  - ・周囲の環境によっては数秒～十数秒かかる場合があります。

- ・複数台の時計をペアリングしている場合、全ての時計が時刻同期されます。
- ・ペアリング済の時計が時刻同期可能範囲外にある場合は、グレーで表示されます。アンテナマークは表示されません。
- ・グレーで表示されている時計は、アプリの時刻同期ボタンを押しても時刻同期されません。

### 時刻同期に成功した場合

- アプリ上にポップアップが表示されます。時刻同期した品番の横にチェックマーク (✓) が表示されます。
- ・時刻同期後、時計はクォーツの精度 (平均月差 ±30 秒) で動作します。
  - ・複数台の時計をペアリングしている場合、時刻同期後は「時刻同期終了」と表示されます。それぞれの時計が時刻同期に成功したかを確認するには、品番の横のチェックマーク (✓) をご確認ください。

※チェックマーク (✓) は一定時間が経過すると消えます。



### 時刻同期に失敗した場合

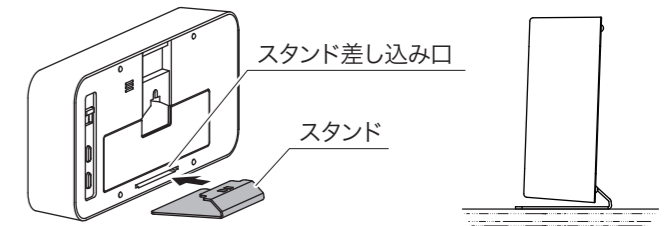
- アプリ上にポップアップが表示されます。時刻は修正されず、アプリの時刻同期ボタンをタップする前の状態に戻ります。手動で時刻合わせを行うか、「故障かな?と思ったときは」を参照して再度時刻同期をしてください。

- 手動で時刻、日付を合わせる  
「便利な機能」を参照してください。

## 4. 時計を設置する

本製品を使用したい場所に設置してください。

- 置時計として使用する場合  
付属のスタンドを裏面のスタンド差し込み口にしっかりと差し込んでご使用ください。正常に差し込んだ場合、下図のような状態になります。



- 掛時計として使用する場合

スタンドは取り付けず、付属の『製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ』に従って、正しく掛けてください。スタンドは無くさないように保管してください。

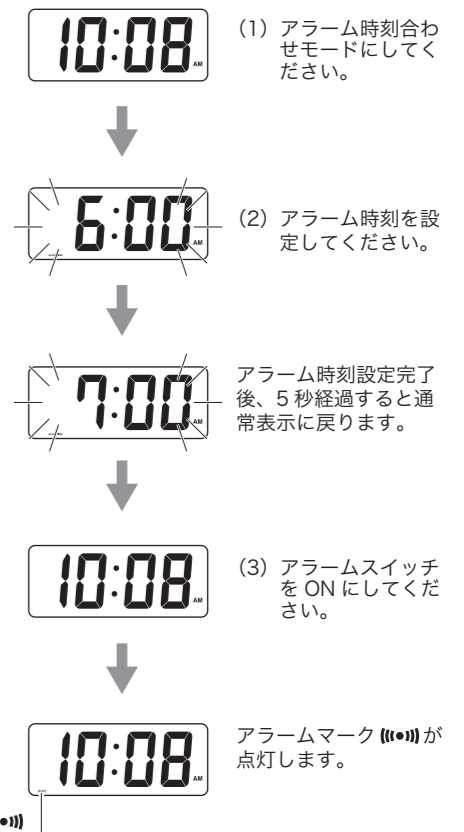
## 5. アラームを設定する

- (1) 「②進むボタン (+)/ 戻るボタン (-)」を 1 回押してください。表示が現在のアラーム時刻に切り替わり点滅し、アラーム時刻合わせモードになります。
- (2) 「②進むボタン (+)/ 戻るボタン (-)」を押してアラーム時刻を合わせてください。
  - ・「②進むボタン (+)/ 戻るボタン (-)」を押し続けると早送りします。
  - ・約 5 秒間「②進むボタン (+)/ 戻るボタン (-)」が押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し、通常表示に戻ります。
- (3) 「①アラームスイッチ」を ON にしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
  - ・アラームマーク (■) が表示されます。

※アラーム中はアラームマーク (■) が点滅します。

※アラームは約 5 分間で自動的に止まります。(オートストップ機能) この場合、アラームマーク (■) は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

※アラームを止めるには、アラームスイッチを OFF にしてください。アラームマーク (■) が消えます。



## 便利な機能

### ■日付(カレンダー)を表示する

時刻表示を日付(カレンダー)表示に切り替えることができます。

- ・時刻表示と日付(カレンダー)表示は「④表示切替ボタン(DISPLAY SELECT)」を1回押すごとに切り替わります。

### ■時刻 / 日付表示自動切替機能について

時刻表示と日付(カレンダー)表示を自動的に切り替えることができます。

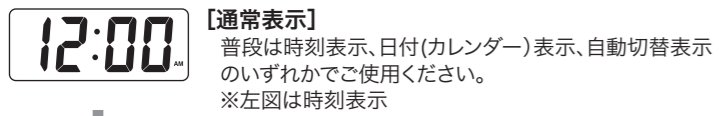
- ・「④表示切替ボタン(DISPLAY SELECT)」を「時刻 / 日付自動表示切替マーク(🔄)」が点灯するまで(約2秒以上)押し続けてください。時刻表示と日付(カレンダー)表示が定期的(約15秒ごと)に切り替わります。
- ・時刻 / 日付表示自動切替機能を解除するには「④表示切替ボタン(DISPLAY SELECT)」を「時刻 / 日付自動表示切替マーク(🔄)」が消えるまで(約2秒以上)押し続けてください。



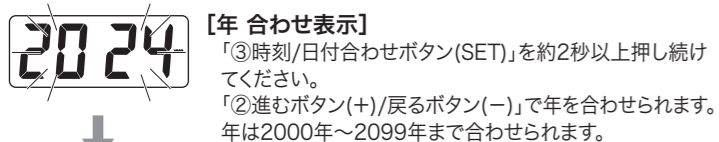
### ■手動による時刻、日付合わせについて

手動で時刻、日付を合わせることができます。

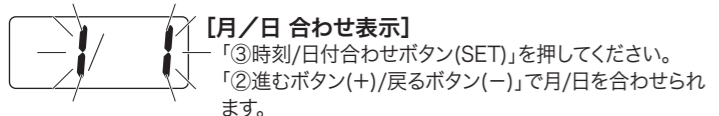
- (1) 「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を約2秒以上押し続けてください。年表示が点滅します。
- (2) 「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を押すごとに、下図のように順に表示が切り替わり、点滅します。
- (3) 「②進むボタン(+)/戻るボタン(-)」で時刻や日付を合わせてください。
  - ・「②進むボタン(+)/戻るボタン(-)」を押し続けている間は早送りします。
  - ・5分以上「②進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。
- (4) 時刻や日付を合わせ終わったら、「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を押してください。設定が完了します。



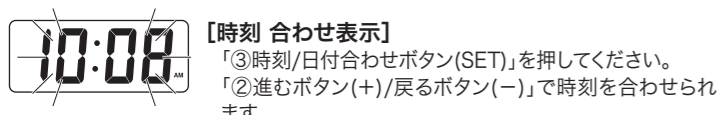
**【通常表示】**  
普段は時刻表示、日付(カレンダー)表示、自動切替表示のいずれかでご使用ください。  
※左図は時刻表示



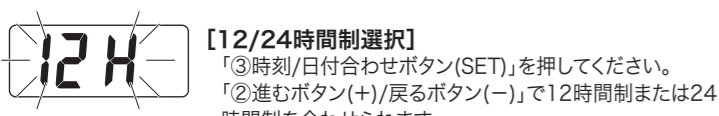
**【年 合わせ表示】**  
「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を約2秒以上押し続けてください。  
「②進むボタン(+)/戻るボタン(-)」で年を合わせられます。年は2000年～2099年まで合わせられます。



**【月/日 合わせ表示】**  
「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を押してください。  
「②進むボタン(+)/戻るボタン(-)」で月/日を合わせられます。



**【時刻 合わせ表示】**  
「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を押してください。  
「②進むボタン(+)/戻るボタン(-)」で時刻を合わせられます。



**【12/24時間制選択】**  
「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を押してください。  
「②進むボタン(+)/戻るボタン(-)」で12時間制または24時間制を合わせられます。

「③時刻/日付合わせボタン(SET)」を押してください。設定が完了し、通常表示に戻ります。

### ■表示名の編集について

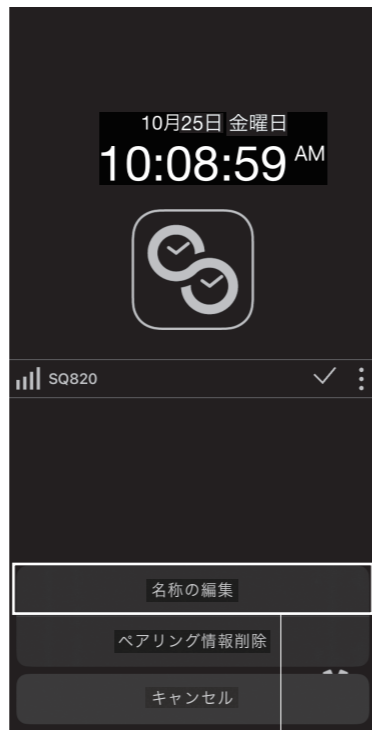
ペアリング後、アプリにはペアリングした時計の品番名が表示されます。品番名は自由な名称に編集し、表示名を変えることができます。

- 例)リビングの時計、会議室、Bed roomなど
- ・表示名は、編集を行ったスマートフォンにのみ記憶されます。
- ※複数台のスマートフォンを使用する場合、スマートフォン毎に編集できます。

※時計本体のリセットボタンを押しても、編集した名称は削除されません。

※ペアリング情報の削除を行った場合、編集した名称も削除されます。

- (1) ペアリング後、アプリの品番名の右側に表示されている「:」をタップしてください。
- (2) 「名称の編集」をタップしてください。
- (3) 名称を入力してください。
- (4) 「OK」をタップして、編集を完了してください。



「名称の編集」をタップする

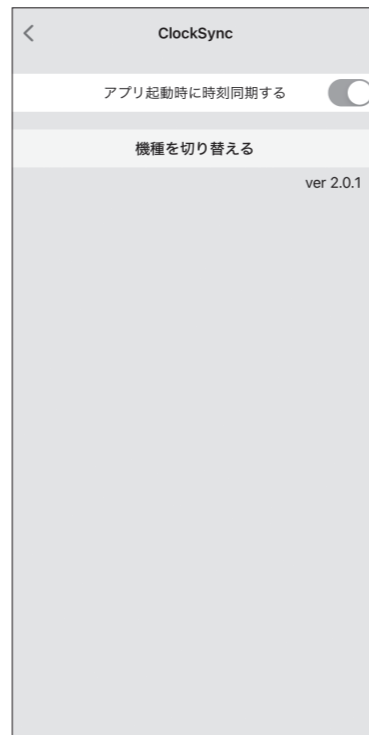


### ■アプリ起動時の自動時刻同期について

ペアリングした時計に対して、アプリを起動した時、自動的に時刻同期を開始することができます。

- ・複数台ペアリングした場合は、全ての時計に対して時刻同期されます。
- ・時刻同期後は「時刻同期終了」と表示されます。
- ※時計が時刻同期に成功したかを確認するには、表示名の横のチェックマーク(✓)をご確認ください。

- (1) 画面下部の歯車マーク(⚙️)をタップしてください。
- (2) 「アプリ起動時に時刻同期する」をオンにしてください。



### ■時計本体を特定する(複数台使用する場合)

複数台ご使用になる場合、アプリ上で時計の個体を特定することができます。

- (1) 時計の「⑥ペアリングボタン(※ON)」を押してください。
  - (2) ペアリングボタンを押した時計の個体の表示名がアプリ上で点滅します。
- ※必要に応じて表示名を編集してください。

### ■電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。電池の残量が少なくなると、電池交換マーク(🔋)を表示し、交換時期をお知らせします。すべて新しい電池に交換してください。

## その他

### ■ペアリング情報の削除について

ペアリング情報を削除して、アプリをペアリング前の状態に戻すことができます。

- (1) ペアリング後、アプリの表示名の右側に表示されている「:」をタップしてください。
  - (2) 「ペアリング情報削除」をタップしてください。
  - (3) アプリ上にポップアップが表示されます。「OK」をタップするとペアリング情報が削除されます。
- ※再びアプリに表示させるには、再度ペアリングを行ってください。

### ■多数(6台以上)の時計をペアリングするとき

多数の時計を1台のスマートフォンにペアリングする場合、ペアリングに時間がかかり、タイムアウトする場合があります。

6台目以降をペアリングする場合は下の方法をお試しください。

- ・すでにペアリングした時計の電池を抜く、またはスマートフォンから離れたところに置き、時刻同期可能範囲外(表示名がグレー表示)にしてください。その後、通常通りペアリングを行ってください。
- ※スマートフォンにペアリング情報が登録されているため、時計本体の電池を抜いてもペアリング情報は削除されません。

## お手入れについて

### プラスチック枠の製品の場合

- 本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ききってください。

### 木枠・金属枠の製品の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾ききってください。
- ※ お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

## 製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります

時 間 精 度:	平均月差±30秒 (気温5℃～35℃で使用し、アプリによる時刻同期を行わない場合) 表示誤差±1秒(アプリによる時刻同期を行った直後)
使用温度範囲:	-10℃～50℃ (液晶表示部 判読可能温度範囲: 0℃～40℃)
ア ラ ー ム:	ダンダントーン(だんだんテンポが速くなる電子音) 約5分間オートストップ
カ レ ン ダ ー:	2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー(月末、うるう年とも修正不要)
表 示 内 容:	日付(月/日) 時刻(AM/PM表示による12時間制または24時間制表示)
使 用 電 池:	単3形乾電池 2個
電 池 寿 命:	約2年 単3アルカリ乾電池(LR6)を2個使用時 ※1日あたり、アラームを10秒間使用した場合
BLE時刻同期機能:	アプリ操作により手動で時刻同期 (時刻同期後はクォーツの精度で動作)
使用周波数帯:	2.4GHz帯(2.4000GHz～2.4835GHz)
通 信 方 式:	Bluetooth Low Energy
時刻合わせ機能:	アプリ操作による時刻同期、または手動セット
電池切れ予告機能:	電池交換マークを表示して、電池交換時期をお知らせ

※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

## Bluetooth® 機器について

### 機器認定について

本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの設備として認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律によって罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品に貼り付けられている証明ラベルをはがすこと



### 周波数について

本製品は 2.4GHz 帯の 2.4000GHz から 2.4835GHz までを使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

#### 本製品の使用上の注意事項

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 不明な点やその他お困りのことがありましたら、クロックお客様相談室までお問い合わせください。

**2.4FH1** この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

### ペアリングについて

Bluetooth 機器では接続する機器同士をあらかじめ登録しておく必要があります。

この登録を「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングすると、スマートフォンにペアリング情報が登録され、以降自動で認識されます。以下の場合、再ペアリングが必要になります。

- スマートフォンに別の時計を登録するとき
- スマートフォンの機種を変更したとき
- アプリのアップデートや再インストールでペアリング情報が解除されたとき

## アプリの推奨環境

- Android：バージョン 11 以上
- iOS：バージョン 12 以上

※古い OS では一部の機能が利用できないことがあります。

## Bluetooth® 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うことが一般的な使い方ですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によって、USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また赤外線技術のように機器同士を向かい合わせにする必要もありません。例えば、片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth 規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中の様々なメーカーの製品で採用されています。

### 通信有効範囲

本製品の通信有効範囲は、障害物がない場所で約 10m です。以下の状況においては、通信有効距離が短くなることがあります。

- Bluetooth 接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線 LAN が構築されている場所
- 電子レンジを使用している周辺
- その他の電磁波が発生している場所

### 他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線 LAN 機能を搭載した機器の周辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本製品と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN 機器から 10m 以上離れた所で行う。
- 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN 機器の電源を切る。

### 他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える恐れがあります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本製品および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

### ご注意

- Bluetooth 機能を使うには、相手側の Bluetooth 機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様によって機能が異なる場合があります。
- 本製品は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが十分ではない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生した場合でも、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

## 故障かな?と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>電池が入っていない</li> <li>電池の容量が少なくなっている</li> <li>電池が正しい向きに入っていない</li> <li>きちんとリセットされていない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。</li> <li>電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。</li> <li>確実にリセットボタンを押してください。</li></ul>
表示が欠けている	<ul style="list-style-type: none"><li>電池の容量が少なくなっている</li> <li>電池が正しい向きに入っていない</li> <li>きちんとリセットされていない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。</li> <li>電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。</li> <li>確実にリセットボタンを押してください。</li></ul>
時刻またはカレンダーが合っていない	<ul style="list-style-type: none"><li>時刻同期に成功していない</li> <li>電池の容量が少なくなっている</li> <li>きちんとリセットされていない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>本製品に近い位置で、アプリを操作して時刻同期をしてください。</li> <li>新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。</li> <li>確実にリセットボタンを押してください。</li></ul>
アラームの音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"><li>アラームスイッチが OFF になっている</li> <li>電池の容量が少なくなっている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アラームスイッチを ON にしてください。</li> <li>新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。</li></ul>
アプリが動かない	<ul style="list-style-type: none"><li>スマートフォンがアプリに対応していない</li> <li>スマートフォンがアプリに対応していない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>対応しているスマートフォンをご使用ください。ご使用いただけるスマートフォンについてはホームページアドレス <a href="https://www.seiko-stc.co.jp">https://www.seiko-stc.co.jp</a> にてご確認ください。</li></ul>
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"><li>スマートフォンが Bluetooth Low Energy に対応していない。</li> <li>時計がペアリングモードになっていない</li> <li>スマートフォンの Bluetooth 設定がオフになっている</li> <li>本製品とスマートフォンとの距離が離れている</li> <li>強い電磁波を発生する機器が近くにある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>左の規格に対応しているスマートフォンをご使用ください。</li> <li>時計背面のペアリングボタンを押して、時計をペアリングモードにしてください。</li> <li>スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにしてください。</li> <li>スマートフォンを時計に近づけて、再度試してください。</li> <li>強い電磁波を発生する機器から本体を離してご使用ください。</li></ul>
アプリの時刻同期ボタンをタップしても時刻同期しない	<ul style="list-style-type: none"><li>スマートフォンがアプリに対応していない</li> <li>スマートフォンの Bluetooth 設定がオフになっている</li> <li>本製品とスマートフォンとの距離が離れている</li> <li>本製品とスマートフォンの間に障害物がある</li> <li>ペアリングが切れている</li> <li>ペアリングをしていない</li> <li>強い電磁波を発生する機器が近くにある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>対応しているスマートフォンをご使用ください。ご使用いただけるスマートフォンについてはホームページアドレス <a href="https://www.seiko-stc.co.jp">https://www.seiko-stc.co.jp</a> にてご確認ください。</li> <li>スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにしてください。</li> <li>スマートフォンを時計に近づけて、再度試してください。</li> <li>時計背面のペアリングボタンを押して、時計をペアリングし、再度試してください。</li> <li>強い電磁波を発生する機器から本体を離してご使用ください。</li></ul>

## 商標について

- Bluetooth® ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、セイコータイムクリエーション株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Google Play および Android は、Google LLC の商標です。
- Apple は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- iOS の商標は Cisco System, Inc. のライセンスに基づき使用されています。
- その他、本製品の取扱説明書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ®、TM マークは明記していない場合があります。

## 保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。